

魅せる！
現場

～現場を支える人々編～

天ヶ瀬ダム再開発トンネル流入部 本体他建設工事

『天ヶ瀬ダム再開発事業』。流入部は、いくつもの工事を経て、完成へと向かっている。昨年、巨大な立坑が完成。今年度から『天ヶ瀬ダム再開発トンネル流入部本体他建設工事』がスタートする。

現場を熟知する者の 誇りと使命を胸に

初めて作業所長を任される水野は、「立坑の内部に、高さ約40mに及ぶコンクリートの躯体を造る、規模の大きな工事です。工事期間は約1年間。これまでの技術者としての経験をもとにしながら、工事現場のトップとしてチームをまとめることが求められます。前作業所長の『コミュニケーションを密に取り、関わる全ての人間の意見を活かして現場を造るべし』との言葉を胸に刻んでいます。昨年までこの天ヶ瀬ダムで工事を担当し、現場の隅々まで知っている社員同士で、知恵を出し合っています。ベストな状態で次の工事へタスキを繋ぎます」と語る。

新たなスタートを迎えて

大成建設株式会社
関西支店
作業所長
みずの もとあき
水野 智亮



魅せる!
現場

～現場を支える人々編～

「これまで先輩や現場の職人さんたちに支えられて多くのことを学びました。今回の工事では、自分の責任も大きくなります。これまでの経験を活かして、現場に貢献します」と話すのは、入社4年目を迎えて技術者として現場を牽引することを期待される矢部。

共に現場の最前線にたつ佐々木も、「一人ひとりが担当業務に使命感をもつことが大切です。その上で、密なコミュニケーションをとって現場を円滑に動かしたい」と話す。

工事の完成と 自身の成長に期待を寄せ

「技術者が全力で現場に従事できるようバックアップするのが事務の職務だと思っています。笑顔で現場に向かい、また事務所に戻ってきてもらえるよう、頑張っています」と話すのは、事務の足立。

CADオペレーターとして現場を支える横尾も

「赴任した当時はまだ立坑自体がありませんでした。図面とにらめっこしながらできあがった姿をイメージしてパソコンの中で立体化していきました。それが実際に姿を現し、さらに今回の工事ではコンクリートの建造物が造られます。現場で使いやすい図面を作成するよう意識しています。実際にモノとしてできあがっていく姿を見られるのはとても嬉しいですね」とやりがいを話す。

「地図に残る仕事。」を未来へつなぐ。全ての社員がその使命と責任感を感じながら工事に臨む、天ヶ瀬ダム再開発トンネル流入部本体他建設工事が、いま始まる。



大成建設株式会社
やべ かずし
矢部 和史

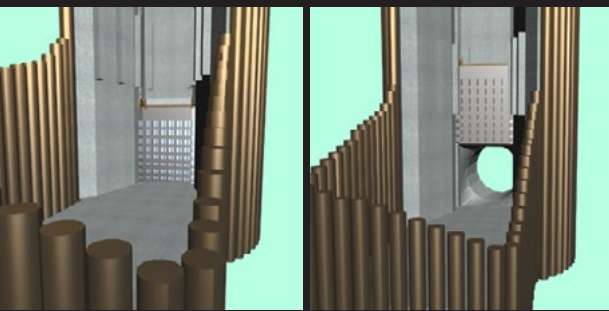
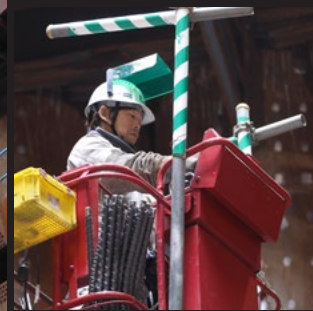


大成建設株式会社
あだち みやこ
足立 美也子



大成建設株式会社
よこお もとこ
横尾 基子

大成建設株式会社
ささき かずお
佐々木 一雄



次回は天ヶ瀬ダム再開発トンネル減勢池部他建設工事の大林・飛鳥JVが担当します。ご期待ください！